

新潟東西道路（新潟西・新潟・新新バイパス）

新潟市への通勤が便利に！ ～ 便利で快適な通勤を実現 ～

過去 before

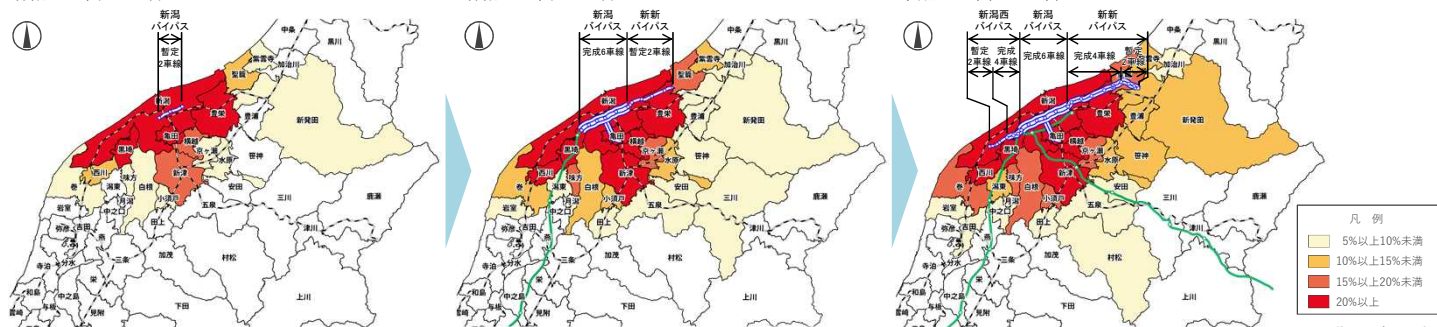
現在 after

旧新潟市通勤圏（通勤率5%以上）の経年変化（昭和45年⇒昭和60年⇒平成12年）

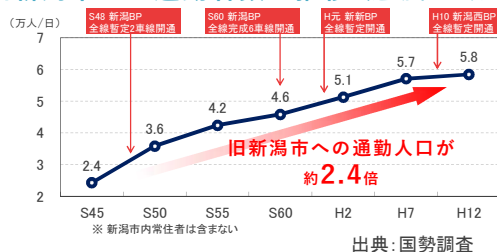
昭和45年(1970年)

昭和60年(1985年)

平成12年(2000年)



旧新潟市への通勤者数の推移（通勤率5%以上）



インフラ

新潟東西道路の整備により沿線地域の通勤の利便性が向上

新潟バイパス【昭和52年 暫定2車線】



新潟バイパス【平成17年 完成6車線】



新発田市と新潟市役所間の所要時間が**約10分短縮**するなど、周辺市町村から新潟市への移動時間が短縮。モータリゼーションの進展に加え、新潟東西道路による新潟市近隣地域との時間的・心理的な距離の短縮により通勤圏が拡大し、旧新潟市への通勤者数は、30年間（S45～H12）で**2.4倍に増加**。

新潟東西道路は、新潟市への通勤時間短縮による郊外からの通勤の利便性向上など、より便利で快適な生活を支援。

